

平成21年度河川水水質検査結果の概要

市内全域56件の河川水の水質検査（18項目）を実施しました。

実施した水質検査の結果については、各河川水系の類型を基に基準値と比較しました。

1. 三角町（環境基準類型指定河川なし）4カ所（地点）

- ① 生活環境項目 : 浮遊物質量が手場川、戸馳内潟及び古氷川で高い傾向を示した。
また、古氷川で大腸菌群数が高い値を示した。
手場川及び戸馳内潟は水量が少なく、また古氷川では上流域に住宅が多数点在する環境にあり、浮遊物質量および大腸菌群数の値に生活排水の影響が考えられる。
- ② 健康項目 : 基準値を超える地点はない。
- ③ 陰イオン界面活性剤 : 高い地点は認められない。

2. 不知火町（環境基準類型指定河川なし）11カ所（地点）

- ① 生活環境項目 : 水素イオン濃度および溶存酸素量が春の川で高い値を示した。
春の川において水素イオン濃度および溶存酸素量が高い値を示したが、これは藻や植物プランクトンが光合成を行う際の炭酸同化作用によると考えられる。
- ② 健康項目 : 基準値を越える地点はない。
- ③ 陰イオン界面活性剤 : 春の川では少し高い値を示した。生活排水が影響していると考えられる。

3. 松橋町（環境基準類型指定 大野川水系：C類型）28カ所（地点）

- ① 生活環境項目 : 萩尾児童館下（大野川）および下流の中富橋（大野川）で浮遊物質量が基準を越えた値を示した。
大野川で浮遊物質量が高い値を示したのは、前年同様に田んぼからの落水によると考えられる。
薩摩橋（大野川）、大水口橋（大野川）で生物化学的酸素要求量が基準を超える値を示した。
- ② 健康項目 : 4カ所で鉛が検出された。
中富橋（大野川）で鉛が基準値、また総水銀が検出された。
鉛の基準値検出および総水銀の検出は浮遊物質量が高いことに由来すると考えられる。その他の項目として、亜鉛が少し高い値を示したが、同様に影響を受けていると考えられる。
14カ所で砒素が検出された。
大野川、明神川、五丁川、八枚戸川、浅井手川水系で検出されており、地質由来も考えられる。
- ③ 陰イオン界面活性剤 : 警察署裏（旧大野川）および奥村うどん店前（浅川）地点では前年調査時と同様に少し高い値を示した。

4. 小川町（環境基準類型指定 砂川水系：B 類型） 6 件

- ① 生活環境項目 ; 砂川高速道路陸橋下で大腸菌群数が基準値を超えた値を示した。
- ② 健康項目 ; 基準値を超える地点はない。
- ③ 陰イオン界面活性剤 ; 高い地点は認められない。

5. 豊野町（環境基準類型指定 浜戸川水系：B 類型） 7 件

- ① 生活環境項目 ; 基準値を超える地点はない。
- ② 健康項目 ; 基準値を超える地点はない。
- ③ 陰イオン界面活性剤 ; 高い地点は認められない。